

洪水ハザードマップの見方(凡例)

洪水時の想定浸水深 → 浸水深の目安

10.0m以上の区域	5.0m
5.0m～10.0mの区域	3.0m
3.0m～5.0mの区域	0.5m
0.5m～3.0mの区域	0.5m未満
0.5m未満の区域	0.5m
氾濫を想定した河川	
その他の主要河川	

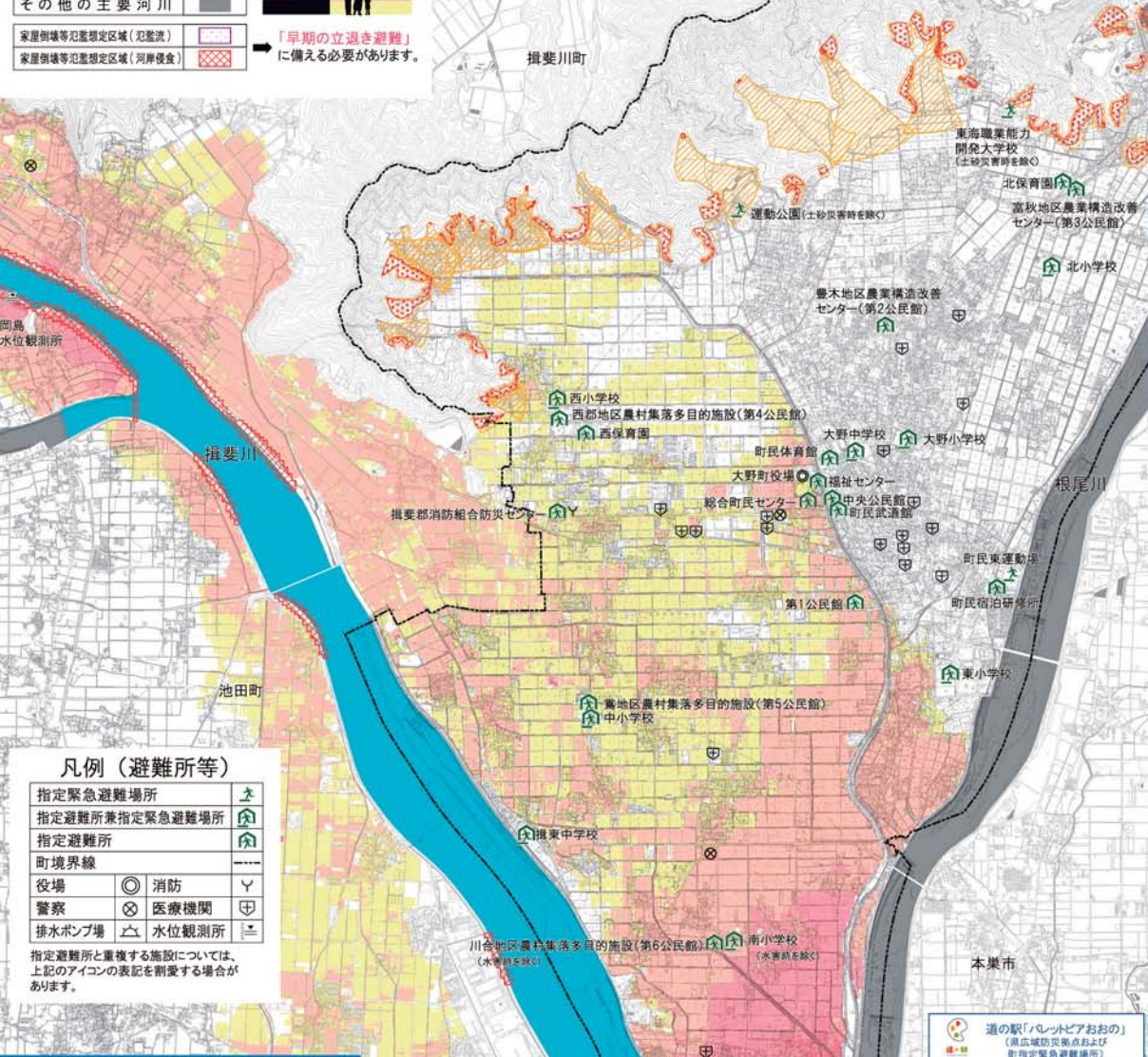
家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) → 「早期の立退き避難」に備える必要があります。

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

凡例(土砂災害)

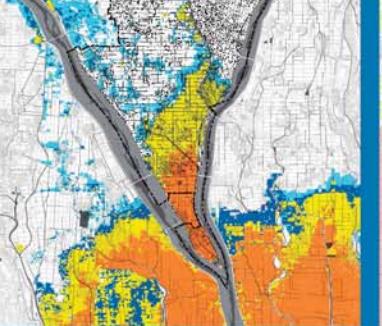
土砂災害特別警戒区域	土石流
急傾斜地の崩壊	土砂災害警戒区域
土砂災害警戒区域	土石流
急傾斜地の崩壊	

※土砂災害発生時に利用できる指定避難所・指定緊急避難場所の位置については、裏面の土砂災害ハザードマップで確認できます。



凡例(避難所等)

指定緊急避難場所	+
指定避難所兼指定緊急避難場所	+
指定避難所	+
町境界線	----
役場	◎
警察	◎
排水ポンプ場	△
指定避難所と重複する施設については、上記のアイコンの表記を割愛する場合があります。	



(1) この図は、木曾川水系揖斐川の洪水予報期間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水深、浸水継続時間等を表示しています。

(2) 浸水深及び浸水範囲は、揖斐川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により揖斐川が氾濫した場合の浸水の状況をそれぞれシミュレーションにより予測したものです。

(3) 浸水継続時間は、浸水深が0.5mを超過してから0.5mを下回るまでの時間を表しています。

(4) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮および内水による氾濫等を考慮していません。このため、浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(5) また、同様の降雨があった場合に、河川堤防の決壊または洪水氾濫流により木造家屋が倒壊のおそれがある区域、河岸侵食により木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域についても表示しています。これらについても、一定の条件の下で算定したものであり、これらの区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

(6) これらの想定は、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所および木曾川下流河川事務所が平成28年12月に作成したものを使用しています。

(7) シミュレーションの前提となる雨の強さは、2日間総雨量667mm(概ね1,000年に1回程度)としています。

避難所の特徴

指定緊急避難場所	災害から命を守るために緊急に避難する場所です。
指定避難所兼指定緊急避難場所	避難したみなさんが災害の危険がなくなるまで一定期間滞在する、または災害で自宅に戻れなくなった方が一時的に滞在する施設です。
指定避難所	

水害時は使用できません 土砂災害時は使用できません

第1区	
町民体育館	〒32-2462 総合町民センター
中央公民館	〒34-1222 第1公民館
町民武道館	- 東小学校
福祉センター	〒34-2130 町民宿泊研修所
町民東運動場	-
第2区	
西小学校	〒32-0359 大野中学校
西保育園	〒32-1043 大野小学校
西部地区農村集落多目的施設(第4公民館)	〒32-2446 豊木地区農業構造改善センター(第2公民館)
揖斐郡消防組合防災センター	〒32-0119 運動公園
第3区	
中小学校	〒32-0576 北小学校
揖東中学校	〒32-0503 北保育園
富地区農村集落多目的施設(第5公民館)	〒35-2585 富地区農業構造改善センター(第3公民館)
東海職業能力開発大学校	〒34-3600
第4区	
南小学校	〒35-2001 下座倉公民館
南保育園	〒35-2002 西濃環境整備組合
川合地区農村集落多目的施設(第6公民館)	〒35-2744 道の駅「ハレットピアおおの」(県広域防災拠点)

避難方法判断フロー

的確な避難方法を確認してください

的確な避難方法を考えましょう!

防災マップで自宅の位置と浸水の深さを確認

あなたの家は氾濫による倒壊の危険がある地域ですか?

- 河岸侵食内または氾濫流内で木造 → 指定緊急避難場所に避難(または自宅以外の安全な場所に避難)
- 氾濫流内で木造以外または対象外 → 倒壊の危険度小下に示す表に従って避難

浸水の深さ	1階建て	2階建て	3階建て
0.5m未満	自宅待機も可*	自宅待機も可*	自宅待機も可*
0.5m～3m	指定緊急避難場所へ避難	2階以上へ避難も可*	2階以上へ避難も可*
3m～5m	指定緊急避難場所へ避難	指定緊急避難場所へ避難	3階以上へ避難も可*
5m以上	指定緊急避難場所へ避難	指定緊急避難場所へ避難	条件によります

※家の周りの浸水の深さと建物の高さで避難方法が異なります。『自宅待機や2階、3階の避難も可』の場合も必要に応じて『指定緊急避難場所へ避難』してください。また、指定緊急避難場所においても安全な階に避難してください。

避難情報の発令と避難行動

避難指示(緊急)

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでもかえって命に危険が及ぶような状況では、近隣の安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

避難勧告

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでもかえって命に危険が及ぶような状況では、近隣の安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合

- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者の方は避難を開始しましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

洪水予報の危険度レベルと水位

岡岡水位観測所	危険度レベル	山口水位観測所
洪水発生	すでに氾濫が発生している状態	洪水発生
氾濫危険水位	レベル5 氾濫発生情報	氾濫危険水位
4.10m	レベル4 氾濫危険情報	3.90m
避難判断水位	避難勧告等の発令判断の目安とする水位	避難判断水位
3.40m	レベル3 氾濫警戒情報	3.50m
氾濫注意水位	水防団の出動の目安とする水位	氾濫注意水位
1.30m	レベル2 氾濫注意情報	2.20m
水防団待機水位	水防団が待機の目安とする水位	水防団待機水位
0.50m	レベル1	1.40m

過去に大野町で発生した主な水害

平成14年7月洪水では、根尾川流域の観測所において、最大時間雨量111mm総雨量562mmを記録し、根尾川の山口水位では、戦後最高水位が記録されました。

大野町下流観測所 平成14年7月(14年8月) 大野町観測所(堤防) 平成14年7月(14年8月)

洪水ハザードマップの見方(凡例)

洪水時の想定浸水深 → 浸水深の目安

5.0m～10.0mの区域	5.0m
3.0m～5.0mの区域	3.0m
0.5m～3.0mの区域	0.5m
0.5m未満の区域	0.5m
氾濫を想定した河川	
その他の主要河川	

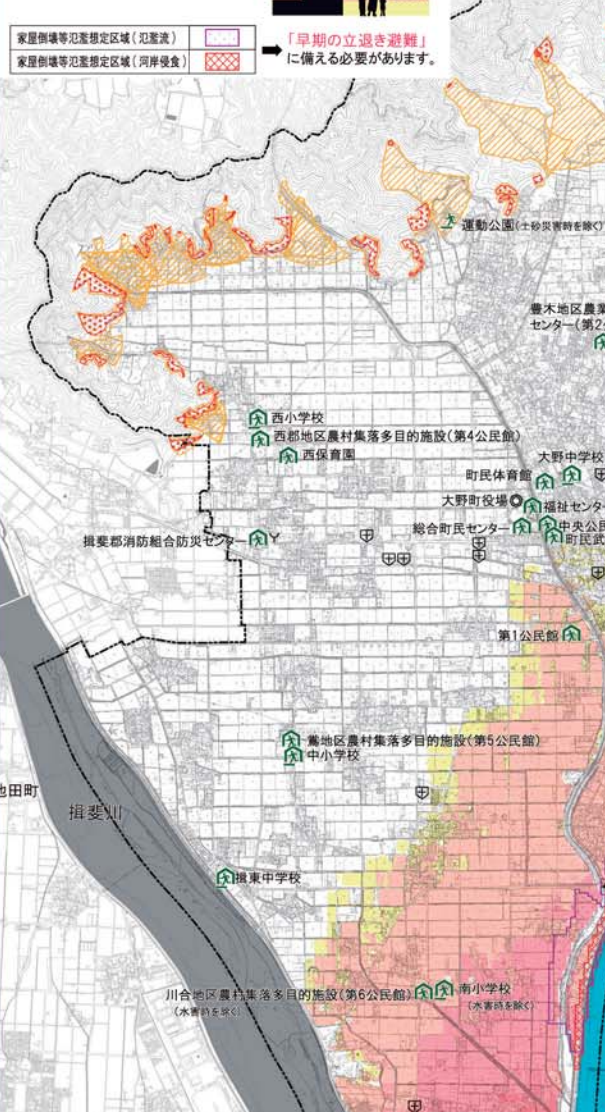
家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) → 「早期の立退き避難」に備える必要があります。

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

凡例(土砂災害)

土砂災害特別警戒区域	土石流
急傾斜地の崩壊	土砂災害警戒区域
土砂災害警戒区域	土石流
急傾斜地の崩壊	

※土砂災害発生時に利用できる指定避難所・指定緊急避難場所の位置については、裏面の土砂災害ハザードマップで確認できます。



凡例(避難所等)

指定緊急避難場所	+
指定避難所兼指定緊急避難場所	+
指定避難所	+
町境界線	----
役場	◎
警察	◎
排水ポンプ場	△
指定避難所と重複する施設については、上記のアイコンの表記を割愛する場合があります。	



(1) この図は、木曾川水系根尾川の洪水予報期間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水深、浸水継続時間等を表示しています。

(2) 浸水深及び浸水範囲は、根尾川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により根尾川が氾濫した場合の浸水の状況をそれぞれシミュレーションにより予測したものです。

(3) 浸水継続時間は、浸水深が0.5mを超過してから0.5mを下回るまでの時間を表しています。

(4) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮および内水による氾濫等を考慮していません。このため、浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(5) また、同様の降雨があった場合に、河川堤防の決壊または洪水氾濫流により木造家屋が倒壊のおそれがある区域、河岸侵食により木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域についても表示しています。これらについても、一定の条件の下で算定したものであり、これらの区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

(6) これらの想定は、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所および木曾川下流河川事務所が平成28年12月に作成したものを使用しています。

(7) シミュレーションの前提となる雨の強さは、2日間総雨量667mm(概ね1,000年に1回程度)としています。

この防災マップは、台風や大雨によって揖斐川または根尾川が氾濫した場合(本マップの説明文を参照)に想定される浸水区域、浸水深や土砂災害(裏面を参照)の危険区域と災害時の避難場所などを示したものです。

大野町の他のハザードマップ

大野町のハザードマップは、このマップのほか「地震防災マップ」などがあります。このマップとあわせて災害時の危険箇所や危険から命を守るための情報を町のホームページなどで入手してください。

